

令和 6 年度 自己評価結果公表

社会福祉法人クオラ
保育園クオラキッズあいら

1, 評価と取り組み状況

評価項目	取 り 組 み 状 況
保育・教育内容 ・計画・環境作り	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが主体的に活動できる環境作りについて、保育者間で検討会を重ね、子どもが意欲的に取り組む遊びの提供に努めた。 ・異年齢での交流を取り入れ年長児へのあこがれの気持ちを抱いたり、年下の子どもへの関りも出来るようになり、優しい気持ちも育ってきている。 ・体を動かす遊びやスキンシップを用いた遊び等を大いに取り入れ、安心して遊び、生活の流れを知るようになってきた。
こどもへのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもを尊重する保育を一番に考えた関わり方を心掛け、ひとりひとりの成長発達をとらえるために保育者で話し合いながら個別計画を立てている。ひとりひとりの子どもの思いを受け止め、1対1で寄り添うことに努め、安心して生活ができています。 ・子ども達が自分の気持ちや考えが伝えられるような環境を心がけている。
保護者対応 ・日々の連絡 ・ご意見対応	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の送迎時で、子ども達の姿を出来るだけ伝えられるように心がけている。年1回の懇談会は年長児のみ実施しているので少しずつ他年齢も実施できるように検討したい。個人面談では、園生活、家庭での様子の情報交換を行った。また必要に応じて育児等の相談にも対応した。 ・感染症や台風等の対応について早めの連絡を行い周知に努めた。 ・保育参観は今年より初めての試みであったが、一緒に遊んだり、給食を食べて頂けた。 ・連絡帳をICT化し、保護者は自分のスマホから子どもの様子等の確認ができるようになり、以前より詳しく情報が出せるようになった。 ・運営の改善に対する意見の対応については、職員間で話し合い検討した結果を保護者に周知した。
保育者同士の協力・連携	<ul style="list-style-type: none"> ・毎朝の朝礼で一日の流れや報告を職員間で共有してきた。また、検討事項があると関係者での会議を行い、対策について話し合ってきた。 ・以上児クラスと未満児クラスで月1回の会議を行い、月の反省をするとともに助言等をもらえる機会となった。 ・給食担当者、保育者等での合同会議では、運営に関して理念に沿った話し合いを月1回は行ってきた。
食育・給食	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜を育てる過程を楽しみ、収穫の喜びを味わい、達成感を得るように配慮している。また、クッキングを通して食への興味を広げられるようにしている。 ・和食を多く取り入れ、野菜を十分に使用したメニューの組み合わせを検討してきた。副菜には野菜が入っている為、噛む力も出てきて野菜もよく食べるようになってきた。 ・アレルギー対応の話し合いを随時し、職員全体への周知を行い事故防止に努めた。
安全・衛生・健康管理への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・登園時に視診を入念に行い、体調がいつもと違う場合は、行動面の観察を十分に行い、早めに気づきを伝えられるようにしている。 ・感染症の発生時には、早めに各家庭に知らせ、部屋の消毒を行い流行を防

	<p>いだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部屋で使う遊具は、午前午後と入れ替え、洗う、滅菌機に入れるなどして感染防止に努めた。 ・手を良く洗う、うがいをする、具合が悪い時には保育者に知らせる等を子どもへ分かりやすく伝え、自分の体は自分で守ることを教えた。 ・遊具の点検、事故の対応などマニュアルに沿った配慮をした。
<p>研修 (資質向上の 取り組み)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもへの関わり方、子ども理解等の研修会(園外、園内)に職員全員が平等に参加できるようにした。 ・子どもの人権、虐待、接遇について職員全員の意識を高める研修をした。 ・危機管理、感染症対応について意識を高める研修を行った。 ・救急法講習会を開き積極的に学んだ。

2, 今後取り組むべき課題

<p>保育方針・理念</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本園の保育方針の確認をしながら、保育者の保育観のすり合わせを行い子どもの主体性を大切にしていく。
<p>保護者対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者参加の行事等を早めに周知する。 ・園生活の様子を丁寧に伝える。
<p>安全・衛生・健康管理への配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・予測されるこどもの行動を把握し、事故防止に努めるなど危機管理能力をさらに高める。
<p>小学校との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の小学校との交流会を行う ・小学校の先生との情報交換会に積極的に参加する。
<p>保育者同士の連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡漏れがないように周知の方法を検討していく。
<p>研修・資質向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども理解を深めるために広い視野を持ち、さらに専門的に子どもや保護者に対応できるよう研修していきたい。

以上の通り報告いたします。